

一月の市場は持出高の何れより次下並
賣買の致事

附く紫紅梅保を升高料の保受保受を
其保を何れも形なり下並保の中事

一 在る諸職人尤黨と結ひた子端を名附高合
りる細く巧拙も不分一目にる債引
上は執相多し以来右奇合の債相共子る債限
目に分る保の後一致極分る相場は防ひ

二三下事

附く日在人は債も右准の二三下事

一 田方植付後去用中不討の冷氣を傲の暑氣強く
以る志を不奇虫付有る事以虫と防も取
有る先夜分時を火を焚明松と燈一歩以在る
形かかす鉄炮と抄鉄炮と事なすぬ去地を
花火と建籍くゆと一吹或は漏秘宛お控る
鯨くゆと去地を曉天風上より石をいど好り

加け根虫にんく用水により石灰と流し虫と
防除し翌年地をまうにんく竹葉麦を
と入切返し中事

一苗圃方先早魁又去水腐木の植付種成
後まにんく去用入る去苗新根とにんく根付
不立不生之事に去用入に日前に苗と去去の
流し水又去用水溜地杯に苗根去去去去去
途中に初並新根と去去去去去去去去去去

枯葉成先不苦る圃並雨より深田に水減に先
去用去去返植付に先一夜に根付実法に去去去
么の先を所く地味にも去去去去去去去去去
州成事と先の去早に憂を免る去去去去

一近年速くと著修に押移り衣類飲食居日用に
雑具に至迄英礫好水と去去去去去去去去去
諸色香料にも去去去去去去去去去去去去去
逼迫のるに先より欲を去去去去去去去去去